

順天堂医院ニュース 2011 NO.36

新任教授紹介

麻酔科・ペインクリニック

このたび平成 23 年 3 月 1 日付で麻酔科・ペインクリニック教授に就任いたしました西村欣也です。ここ順天堂医院では年間 10,000 例を超える手術が行われていますが、約 2 割の 2,000 例が新生児を含めた小児に対する手術であります。そして私は主に、この小児手術での麻酔管理を担当しています。最近では 1000g 以下の極めて低体重で生まれた赤ちゃんに対しても安全に手術が行われるようになりました。当たり前ではありますが、子供には手術の後に成長すべき 60 年・70 年、さらには 90 年といった長い“歩み”が待っています。手術の結果はその後の生き方を大きく左右するものとなります。このためにも術後の生活を考えた慎重な手術管理が求められていますが、小児医療に携わる 1 人として子供たちおよびご両親のお役にたてるよう努めてまいりたいと思いません。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



麻酔科・ペインクリニック
西村 欣也

新任教授紹介

麻酔科・ペインクリニック

平成23年4月1日に麻酔科・ペインクリニック教授に就任いたしました。当科は、主に、全身麻酔や局所麻酔を駆使して、手術中の痛みなどの諸々のストレスから患者さんのお体をお守りする大切な役割を果たしております。集中治療、術後鎮痛、ペインクリニック、緩和医療でも活躍しています。近年、特に大手術を受ける患者さんにおいては、積極的に術後の痛みをとることが、術後の回復を促進することが明らかになっています。私は、長年、質の高い麻酔と良好な術後鎮痛について模索してまいりました。当院においても、患者さんが質の高い麻酔と良好な術後鎮痛を受けられるよう、努力してまいりたいと思いません。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



麻酔科・ペインクリニック
林田 眞和

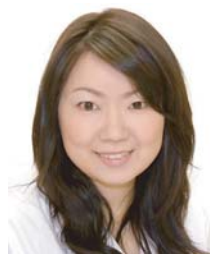
難治性潰瘍治療と下肢救済治療

形成外科 田中里佳

糖尿病、閉塞性動脈硬化症、膠原病などの基礎疾患があると傷が治りにくくなります。そのような傷を難治性潰瘍といいます。近年、食事の欧米化、運動不足、ストレスなどにより糖尿病、動脈硬化などの疾患による足潰瘍や壊疽の発生率が増加の一



教授
水野 博司



助教
田中 里佳



助手
古元 将和

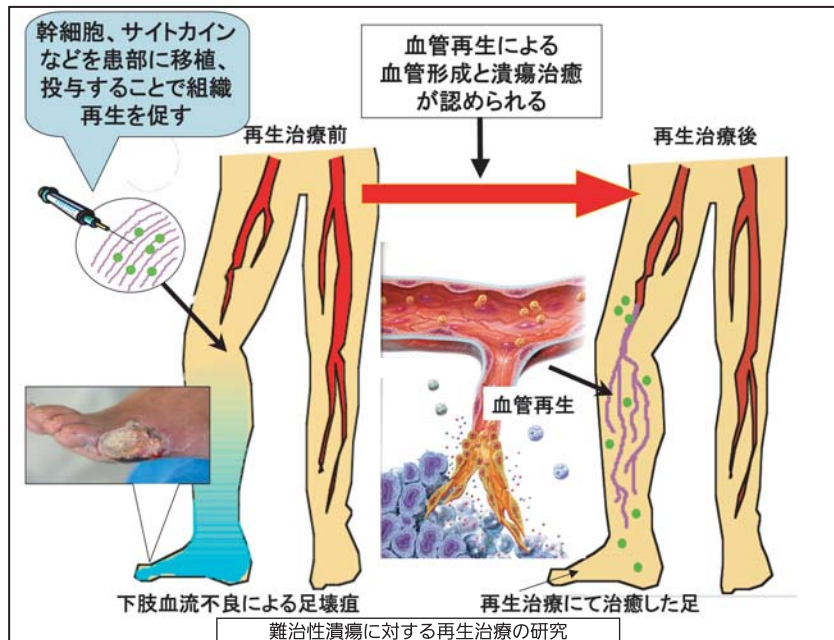
途をたどっており、中には下肢切断を余儀なくされる方も少なくありません。足が切断されると生活の質が低下し、寿命も短くなるといわれています。当院の形成外科では、創傷治癒、再生治療の専門科が集結し一人でも多くの患者さんの足を救うため難治性潰瘍の治療に積極的に取り組んでいます。また既存の治療が無効な患者さんに対しては、再生医療を駆使した新しい治療法の開発も進めています。



図A: 難治性の重症下肢虚血による潰瘍



図B: 集学的治療により治癒した。



縮小手術

呼吸器外科 王 志明

肺がんでは胸部 CT の発達により、すりガラス様陰影を伴う小さい肺がんが多く発見されるようになりました。小さくても原則は肺葉切除（例えば肺がんが右上葉に存在すれば、右上葉切除を行います）というがんを袋（肺葉）ごと切除する手術を行います。これに対して私たちは切除する肺の量を少なくした「縮小手術」を行っております。縮小手術は別名、区域切除や部分（楔状）切除とも言っており、切除する肺の量を少なくすることにより、肺をより多く残すことができます。それにより、肺活量を温存でき息切れなどを少しでも解消することができると考えています。しかし縮小手術をしたことにより根治性（がんを完全に治すこと）が失われてはいけませんので、がんの悪性度に応じて手術の方法を決めることが重要です。現在日本と米国で縮小切除の臨床試験が行われております。順天堂大学でもその臨床試験に参加しており、その上で縮小切除を積極的に適応しております。これによって、心臓や肺にご病気をお持ちの方や糖尿病や透析中の方にも安全な肺の手術を適応できるようになりました。



教授
鈴木 健司



准教授
王 志明

腹圧性尿失禁と TOT(Transobturator tape)手術

泌尿器科 松本直子

咳やくしゃみ、立ち上がった際に尿がもれてしまう腹圧性尿失禁は女性に多い病気です。原因として妊娠や出産、肥満、加齢などがあげられます。治療は骨盤底筋体操や薬物療法、TOT手術などがありますが、症状の程度やライフスタイルにあわせて選択します。TOT手術では、尿道の裏側から骨盤の骨のすき間（閉鎖孔）にテープを通しハンモックのように尿道を支えます。内股の付け根に1cm程度と膣に1.5cm程度の傷で行えます。健康保険が適用され、当院では全身麻酔で入院にて行っています。尿失禁は命に関わる病気ではありませんが、生活の質（QOL）には大きく関わってきます。

高齢女性の3人に1人は尿失禁を経験しているといわれています。尿失禁でお悩みの方はぜひ一度泌尿器科でご相談ください。

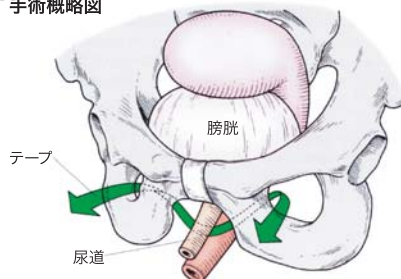


教授
藤目 真



助教
松本 直子

TOT手術概略図



新規導入薬剤 (アブラキサンに関して)

乳腺科 小坂 泰二郎

2010年7月23日、抗悪性腫瘍薬のパクリタキセル注射剤(アルブミン懸濁型 商品名:アブラキサン 点滴静注用 100mg)が製造承認を取得しました。適応は「乳がん」で、薬の使い方は「1日1回 260mg/m²を30分かけて点滴し、3週間隔で繰り返す」となっています。この薬剤はパクリタキセル(タキサン系薬剤 商品名 タキソール)にヒト由来のアルブミンを結合(模式図)させて水に溶けやすくしたもので、これまでパクリタキセルを溶けやすくするために用いていた添加物(ヒマシ油やアルコール)を使用しないで済むようになりました。これらの添加物が点滴に含まれないことにより、短時間(30分)での投与、アルコールが使用できない方への投与、ヒマシ油によるアレルギーを予防するために使用していたステロイドが不要となり、より多くの方が治療の恩恵を受けることができるようになりました。



前任准教授
齊藤 光江



助教
小坂 泰二郎

またヒト由来アルブミンを結合したことで、血管に投与したアブラキサンががんの存在する部位(組織など)に届きやすくなるというデータが示されており、抗がん剤が届きにくい部位に存在する乳がん(炎症性乳がんなど)にも効果が得るのではないかと期待されています。

実際の効果としては、いままでの標準的な治療としてのパクリタキセル3週に1回投与する方法と比較した場合(試験名 CA012)、アブラキサンの同じ投与方法と比較し「腫瘍が小さくなる割合」や「病気が悪くなるまでの時間」がともにアブラキサンの方が優れていました。一方でアブラキサン投与した患者さんでは「生活に支障がでる程度のしびれ」などの症状がパクリタキセルより多く認められました。

最後にアブラキサンが新規薬剤として認可され恩恵を得られる患者さんが増えたことは素晴らしいことですが、ヒトアルブミンを用いた血液製剤であること、また用量としても比較的多く投与されるため患者さんの全身状態をよく評価し抗がん剤治療に精通した者が投与することが望ましいと考えます。



ミセル化された Paclitaxel

看護部ニュース

順天堂医院は特定機能病院として、医学部・看護学部の学生や研修医など多くの教育に携わる役割を担っています。看護部では順天堂医療看護学部の学生のみならず、他大学からの看護学生の實習も受け入れています。学生は専門職としての基盤形成や看護実践能力を養う目標に向かって日々学習します。そして、学生は患者さんからいただくお言葉や實習の経験を通して学ぶことが沢山あります。学生をはじめ、教員・看護部共々心より感謝申し上げます。

患者さんに安心して療養生活を送っていただけるよう、学生は教員や看護師とともに行動します。何かお気づきの点がございましたらお知らせください。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

看護部教育課主任 堺恭子



薬剤部ニュース

～血糖値、気にしていますか？～

正常血糖値は空腹時で110mg/dL未満です。その中でも100～109mg/dLの範囲は「正常高値」と言われます。

「糖尿病型」と言われるのは、126mg/dL以上の場合です。

血糖値が高くなると、血管内の過剰な糖分は全身の細胞と結合し、さまざまな合併症を引き起こします。

合併症には『網膜症』『末梢神経障害』『腎機能障害』などがあります。特に、網膜症は空腹時血糖値が140mg/dL以上でリスクが増加すると言われています。そのため、血糖値を正常範囲内に保つことがとても大切です。これらの合併症はほとんど自覚症状がなく徐々に悪化するため、気づいた時には合併症が進行しています。糖尿病の原因の多くは、生活習慣に大きく関係しているので、普段から運動を心がけ、食事はバランスよく摂取するようにしましょう。

次回は血糖を下げるお薬について最新の情報もまじえてお話しします。



栄養部ニュース

「ビタミンC」のはなし

今回は「ビタミンC」についてご紹介します。

壊血病予防に発見された成分で、アスコルビン酸ともいいます。

ビタミンCの働きとしては、①コラーゲンの合成を促して強い歯茎や血管、骨や筋肉を作る ②免疫力を高め、風邪をひきにくくし回復力を早める ③体内の発がん物質を抑える ④ストレスに対する抵抗力を高める ⑤紫外線によるメラニンの生成を抑えしみそばかすを防ぐなどがあげられます。

ビタミンCは喫煙により失われやすいため、喫煙習慣のある人は必要量より多めに摂ります。また、ビタミンCは体内で作られず、水溶性(水に溶けやすい性質)であるため、体に貯めておくことができません。効果を持続させるためには、野菜やフルーツを毎日バランス良く摂りましょう。また、熱には弱いため、加熱は短時間に行いましょう。

1日の摂取基準(推奨量):成人で100mg(妊婦は+10mg、授乳婦は+50mg)

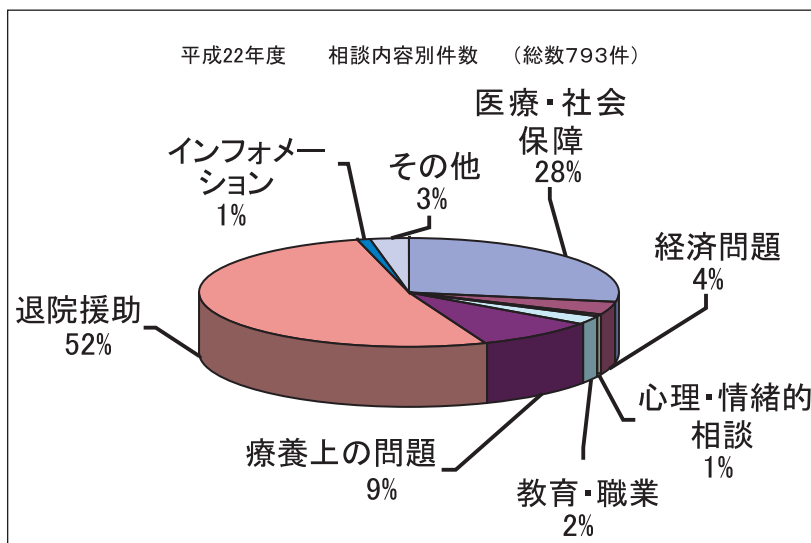
《ビタミンCを多く含む食品》

	オレンジ1個(200g)	赤ピーマン1個	いちご6個	キウイフルーツ1個
				
60mg	120mg	150mg	74mg	69mg

管理栄養士 高城芙美

医療福祉相談室ニュース

☆平成 22 年度に当室で受けた相談内容の割合は、次のとおりです。



昨年度、当室で新しく受けた相談件数は 793 件でした。

一番多い相談内容は、やはり「退院に関する援助」で、当院での入院治療を終えられた患者さんの療養先についてのご相談が、昨年度も約半数を占めました。

突然の病気やケガ、あるいは慢性疾患などの症状によって、入院する前より日常の動作に介助が必要となった場合などに、『介護保険などの介護サービスを利用して自宅で生活するにはどうしたらいいか?』、『リハビリテーション専門病院でリハビリしてから退院した方が良いと言われた』、『自宅での生活は難しそうなので介護施設や療養型病院を探したい』といったご相談を受けて、地域の病院やサービス提供機関と連絡をとりあいながら、退院へのお手伝いしています。

次いで「医療・社会保障制度」についての相談が多いのも例年通りで約 3 割を占めました。最近はその内容や手続きも複雑化し、利用の仕方についてのご相談をお受けすることが多くなってきました。

★4名のソーシャルワーカーが相談にのっておりますが、お待たせすることが多くなってきております。お手数ですがご相談をご希望の際には事前にお電話でご予約(03-5802-1207)いただければ幸いです。

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL : 03-3813-3111(代表)

編集 病院広報委員会
発行 医療連携室(平成23年7月発行)

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

